

3 少子化の影響

議会の視点

子どもが少なくスポーツをする人が減少。特に団体スポーツ（サッカーや野球等）の維持が困難。時代の変化に伴いスポ少自体の課題も変わってきている。また年々、団数、団員数の減少が見られるが、子どもたちが地域でスポーツを楽しむ機会のある重要な提主体であることから、活動内容の積極的な情報発信や運営体制の透明化等が求められている。

意見交換会での 主な意見要望

- ・スポーツの種類により、けがや事故が心配でやめてしまう。
- ・今は他に興味があることが多くスポーツ自体を選択しない。
- ・チームスポーツの減少により保護者間の交流が少ない。
- ・中学校の部活が減少し、小学生時にやっているスポーツをそのまま続けることができない。

令和7年度 寄居町立中学校の部活動状況

○：部活動あり ×部活動なし ※：募集停止

部活動名	寄居中	城南中	男衾中
野球	×	○	×
ソフトボール	×	○	×
サッカー	×	×	○
ラグビー	○	×	×
ソフトテニス男子	○	×	×
ソフトテニス女子	○	○	○
陸上	○	×	○
卓球男子	○※	○	○
卓球女子	×	×	○
バスケットボール男子	○	○	○
バスケットボール女子	○	×	×
バレーボール	○	○	○
柔道	○	×	○
剣道	○	○	○
運動部活動数	10	7	9

団員数が20名から15名ほどに減少。喫緊の課題は新規加入者の確保です。母親同士の口コミが勧誘のカギ。またOB保護者のLINEグループやInstagramで体験会を案内しています。



Instagram

指導者
(野球) 太幡勝弘さん(鉢形)



部活動の地域移行

「部活動の地域移行」とは教員の働き方改革等を目的として、これまで中学校の教員が担ってきた部活動の指導を地域のクラブ・団体などに移行すること。令和4年度に国が策定したガイドラインに基づき、まずは令和5年度から3年の期間をかけて、「公立中学校の休日の運動部」を優先し、学校や地域の実情に応じて段階的な地域移行が実施、検討されている。

※寄居町令和7年度 部活動地域移行支援事業 248万9000円。2つの部活（寄居中女子バスケ・城南中女子ソフトテニス）において、休日の活動を地域クラブに移行。時給1600円、年間64日の契約。教員の休日保証が可能となっている。

自分たちが休日を任されることで学校の先生の休日が確保されていることはよいことだと思います。私は教員免許を持っているので、技術だけでなく学生のメンタル面を重視しながら指導に当たっています。

平日は他の仕事をしていますが、私自身も練習に参加しながらの指導はやりがいがあります。



指導者
(バスケ) 境達彦さん(用土)



指導者
(バスケ) 坂本萌果さん(桜沢)



ギカイの視点 スポ少が受け皿になるか?!「部活動の地域移行」

教員の働き方改革の一環として取組が始まっている「部活動の地域移行」だが、地域のスポ少がその受け皿になるのでは、との考えがある。寄居町では今後どのように進めていくのか、関係者に向けた情報の発信を望むところだ。また今号では、議会で初めて「スポ少」に焦点を当て、現場を取材。多くの町民の意見要望を聴く機会を得た。文化系の習い事をする子どもたちもいる中ではあるが、子どもたちの健康面等を考慮しても、スポーツに親しむ環境への整備は喫緊の課題と捉えた。特に練習会場となる体育館等の公共施設の空調整備は、議会としても長期間、多くの議員からの要望が続いている。避難所としての整備の観点からも一刻も早い整備を強く求めている。

今回取材にご協力いただいたスポーツ少年団

- 寄居成心館剣道** 小1～小6
水 18:30～19:30 総合体育館剣道場 土 14:00～16:00 初心者 16:00～17:00 寄居成心館剣道場
- 寄居ミニバスケットボール** 未就学児～小6
水 18:00～20:00 土 8:00～12:00 日 13:30～17:00 総合体育館・寄居小
- 明道館寄居警察署少年柔道教室** 未就学児～中3
火・木 18:30～20:00 (小学生) 20:00～21:45 (中学生) 総合体育館柔道場
- 埼玉ウィンズ (女子ソフトボール)** 中1～中3
月 19:00～21:00 花園総合運動公園 土・日・祝 13:00～17:00 寄居運動公園 城南中グラウンド
- キングフィッシャーズ (野球)** 小1～小6 折原小グラウンド 土・日・祝 8:30～16:00

寄居町スポーツ協会・寄居町スポーツ少年団情報
他のスポーツ少年団情報
及び入団希望はコチラ

